

令和6年度第1回東成区教育会議 議事録

1. 開催日時

令和6年8月23日(金) 19時00分～20時30分

2. 開催場所

東成区役所 3階 304・305 会議室

3. 出席者

(1) 委員：12名

(2) オブザーバー（学校長）：1名

(3) 東成区役所：7名

【会議内容】

○村田教育支援担当課長代理

皆様、こんばんは。定刻を過ぎておりますが、ただいまから令和6年度第1回東成区教育会議を開催させていただきます。本日はご多用中にもかかわらずご出席いただきまして、誠にありがとうございます。私は、本日司会をさせていただきます、教育支援担当課長代理の村田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

この東成区教育会議は、東成区が所管する教育の振興や関連する施策及び事業の参考とするため、児童・生徒の保護者である皆様のご意見をお伺いすることを目的にしております。したがって、「各学校の運営」に関しましては、学校協議会等の場で意見交換をお願いできればと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

この教育会議は原則公開の会議で、一般の方の傍聴や報道機関の取材が可能となっております。また、本日の会議内容は、区役所のホームページ等で公開する必要があることから、録音させていただいております。開催時間は、8時半終了予定とさせていただきます。短い時間となりますが、よろしくお願いいたします。

なお、携帯電話・スマートフォン等は電源をお切りいただくか、マナーモードにしてくださいようお願いいたします。

それではまず開会にあたりまして、東成区 御栗区長よりご挨拶申し上げます。

○御栗区長

皆さん、こんばんは。区長の御栗でございます。本日もどうぞよろしくお願いいたします。

す。私も早いもので着任して 4 年目になります。前職は西区で小学校の校長先生をやっていましたという話は何度も色々な場でさせていただいておりますけども、当区におきまして、この教育会議なるものが無くて、保護者の方の色々な率直なご意見を伺いたいなということで実施させていただいているということで、スタートいたしました。どんどん回を重ねていい形になってまいりまして、この場でいただいたご意見も色々な施策に反映させていただいたり、しっかり行わせていただいておりますので、ぜひ今日もよろしくお願いしたいなと思います。

お手元に、うちわを置かせていただいております、本日も暑く、ちょっと電気代ケチってクーラーを弱めにしてるわけではないのですけれども、これも出来立てのホヤホヤです。本当は夏祭りなどで配れば良かったのですけれども、先日完成をしました。表にミャクミャクと万博、東成 SDGs のマークがあります。裏面には何度も私もあちらこちらで申し上げておりますけれど、東成区 100 周年です。これと 24 区万博ということで SDGs 万博を行わせており、このうちわを作らせていただいております。皆さん特別ということで配らせていただきますので、色々お使いいただければと思いますので、よろしくお願い致します。

色々なことがあったかと思いますが、まずは夏祭り関係ですね、様々な会場で皆さんとお会いしまして、運営に色々と携わっていただきまして本当にありがとうございます。まだまだ、地域行事も復活してまいりまして、皆さんにご協力いただいていることがあろうかと思っておりますけれども、引き続きご協力よろしくお願い申し上げます。

最近の話題で言いますと少しびっくりしましたけれど、南海トラフ地震関係で臨時情報というのが初めて発令されました。巨大地震注意というようなことでした。たまたま夏休み期間中でしたので、学校現場が混乱することはありませんでした。政府から地震発生の注意をしながら通常の生活を続けてくださいというようなお話でしたので、学校運営関係のルールと言いますか、その辺も一部見直し等も行おうとしております。同様のものが発令されても、通常の生活を行うという流れの中にありますので、学校運営につきましても通常の教育活動を行うという方向で、進んでいるようですので、そのあたりはご安心をいただければと思います。学校現場、地域、区役所も含めて防災関係の備えと言いますか、その辺りはしっかりともう 1 度再点検しておりますけれど、皆さんのご家庭におきましても、本当に事前の備えはよろしくお願いしたいと思います。熱中症と感染症のところも本当にご注意ください。よろしくお願いいたしますかと思っておりますけれども、よろしくお願い申し上げます。

冒頭で少し申し上げましたけれど、今回の教育会議では、今年度の教育関連事業の取組ということでお話をさせていただきます。令和 7 年度予算の策定途上ということもありますので、冒頭申し上げましたけれどもぜひ皆さんからも色々なご意見をいただければ、来年度予算に反映するということが可能ではありますので、ぜひ思いのところをご発言いただければと思いますので、ご協力よろしくお願いしたいと思います。

私からは以上です。よろしくお願い致します。

○村田教育支援担当課長代理

それでは次に、恐れ入りますが本日の出席委員の皆様の自己紹介をお願いしたいと思います。

【各委員 自己紹介】

【近藤本庄中学校長 自己紹介】

○村田教育支援担当課長代理

それでは最後に区役所担当職員から自己紹介させていただきます。

御栗区長は先程ご挨拶させていただきました。平田副区長ですけれども、本日急遽欠席という事になりまして、申し訳ございません。では、三嶋課長からお願いいたします。

【課長から順次自己紹介】

それでは、次にお手元の資料をご確認ください。

- 1.配席図
- 2.東成区教育会議委員名簿
- 3.東成区教育会議の資料（ホッチキス止め）
- 4.子どもたちの生きる力育み事業チラシと小さな四角いシール
- 5.学校配置の適正化について ～子どもたちにより良い教育環境を～
子どもたちにより良い教育環境を（パンフレット）と条例の抜粋
以上となります。お手元にお揃いでしょうか。

それでは議事を進めてまいります。お手元の東成区教育会議資料をご覧くださいと思います。表紙の下部分に、本日の次第がございます。ただいま2まで進んでおりますので、次に3の、今年度の教育関連事業の取組状況についてご説明させていただきます。資料のページをめくっていただきまして、ページの上部分ですが、こちらは取組状況の一覧表となっております。これから個別にご説明いたしますが、事業につきましては一括でご説明させていただきますので、ご意見ご質問は説明終了後に挙手をしていただいたのち、こちらで指名させていただきます。ご発言前には学校区名とお名前を言っていただきましてご発言をよろしくお願いいたします。それでは、資料に沿ってご説明させていただきます。

まず、同じページの下部分をご覧ください。①電子書籍を活用した読書活動推進の取組について説明させていただきたいと思います。この事業につきましては、小中学校向けの電子書籍読み放題サービスを導入いたしまして、学校と連携しながら、児童や生徒へ配付されている学習者用端末等を活用し、読書環境の整備を図ることで、子どもたちが読書に親しむ機会を提供し、読書習慣の定着を支援するという事業でございます。

今年度につきましては対象を小学5、6年生、そして勉強で忙しいためかニーズが低いという状況に合わせまして、中学生につきましては希望者のみにIDを配付しております。区政会議などでも読書習慣の定着に向けた取組が大切であるという意見をいただいているところでもありまして、今年度も引き続き取組を進めてまいります。

続きまして次のページの上部分、②民間事業者を活用した課外学習の取組についてです。この事業は基礎学力の向上と学習習慣の定着を目的に、学習塾などの民間事業者を活用して、放課後の学校施設を社会的インフラとして課外学習の場を設置し、子どもたちの自主学習を支援する事業です。習い事・塾代助成事業を活用すれば実質無料で受講いただける形となっております。現在、株式会社トライグループと協定を締結しておりまして、令和5年度につきましては区内の3か所の中学校におきまして実施いたしました。

また、今年度からは中学校での実施に加えて、左の枠囲みの中にも記載がございますように大成小学校、東中本小学校、片江小学校、神路小学校、宝栄小学校におきましても、株式会社トライグループと協定を結び放課後の学習支援を行っております。

それでは続きまして③習い事等を通じた子どもの生きる力を育む取組についてです。小学生・中学生たちが健やかに成長し、自分らしく生きる力を身につけることができるよう、学校施設を利用して学習支援やさまざまな習い事を実施する取組です。教室を開催させていただくにあたりまして、直前にご説明しました、課外学習事業と同様に民間事業者様と協定を結び、習い事・塾代助成事業も活用いただける形としております。こちらの事業についてはNPO法人の志塾フリースクールと協定を締結しております。

お手元に、先ほど見ていただきました、この事業の受講生募集のチラシと、小さな四角いシールをご参考までにお配りしております。このシールのQRコードを読み取っていただきますと、各講座の講師たちのPR動画をご覧になれますので、また後程ご覧いただければと思います。昨年度は秋から開講しました関係もあり、受講生が集まらずに学習支援のみの開講となっております。昨年度のこちらの教育会議でももっと早めに開講し、広報活動も早めに行うべきとのご提言もいただいたところでございます。今年度は4月から広報活動を始め、現時点で学習支援・ダンス・ボイストレーニング・作曲・デザイン・動画編集といずれにも少数ではありますが、全てに受講の申込みがある状況です。そして開校しております。

続きまして資料をめくっていただきまして、④子どもの国際理解を育む取組についてです。例年取り組んでいる事業です。児童・生徒の国際理解の推進のため、独立行政法人国際協力機構（JICA）と連携し、各小中学校において、海外ボランティア経験者、海外留学生等による出前講座を実施しております。今年度は9月から実施予定ですが7校、延べ16回行う予定をしております。外国人講師出身国につきましては、記載しておりますような国々の方々に講師をしていただいております。また、今年度の新たな取組としまして、左側の枠囲みに記載しておりますが、近年、急増している帰国・来日等の児童や保護者にかかる施策として学校教育等に活用いただくための翻訳機、商品名で言いますと、ポケットクスのよ

うな機械を購入し、必要とする学校へ貸与する等の取組も行っております。

次にその下です、⑤子どもの情報モラルを育む取組でございます。インターネット、特に SNS における誹謗中傷などのトラブルが発生しており、学校及び地域団体と連携して作成した人権啓発冊子を活用して啓発を実施しております。資料にありますような3種類の冊子、左側が中学生用、真ん中が小学校高学年用、右側が小学校低学年用ということで、それぞれの学齢期に合わせた内容で子どもたちが社会のルールや自分の安全を守りつつ、ネット・スマホの善き使い手になることができるようにと作成した啓発冊子でございます。各学校で、ご活用いただいております。資料に掲載しておりますQRコードを読み取っていただきましたら、東成区のホームページにつながりましてご覧いただけるようになっております。

次のページに移りますが、⑥平和学習の取組でございます。戦争の悲惨さや平和の大切さを伝えるために、区役所で作成しましたDVDの視聴や、外部講師を招いた平和学習講演会を開催いたします。今年度につきましては、小学校6年生の児童を対象に、大阪府遺族会代表などの語り部による戦争体験談や東成区内の身近な戦争遺産等を収録したDVDを利用した平和学習を実施予定としております。また中学校では、国境なき医師団の一員として紛争地で活動されていた方等を講師として招き、平和の大切さや世界に目を向ける大切さなどについて講演をいただく予定でございます。

次に下のページ、⑦子どもの体力向上に向けた取組でございます。これまで、児童が運動に意欲的に取り組むきっかけづくりとして学校と連携し、小学5年生を対象に、春に実施する全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果や3学期に再度実施するシャトルランの結果をもとに運動を頑張っている児童へ表彰を行う取組を実施してまいりましたが、今年度はそれに加えまして中学生も表彰をさせていただくこととなりました。春に実施する全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、各種目で新記録を樹立した生徒に対して東成区長から「東成区新記録認定証」を贈呈する取組を開始いたします。

次のページにまいります。⑧子どもの人権意識を育む取組としまして、子どもたちやその保護者を対象とした人権映画会を開催することで、誰一人取り残さない社会の実現をめざして世界中で取り組まれているSDGsやそのベースの考え方である人権尊重について考えるきっかけづくりといたします。資料には昨年度開催しました際のチラシを右側に掲載しております。今年度も12月8日日曜日に、「ワンダー 君は太陽」という映画を上映する予定をしております。モニターに出ている映画ですが、この映画は遺伝子の疾患による見た目のせいで、いじめに遭う少年オギーが家族や友達の愛情と勇気で少しずつ困難を乗り越えていく姿を描いた作品です。開催前には学校を通じてお知らせいたしますので、ぜひお子様方お誘いあわせのうえ鑑賞いただければと思います。

続きましてその下、⑨工場見学等ものづくりの魅力に触れる取組です。工場見学やものづくり体験など、子どもたちがものづくり企業と触れ合う機会を提供することで、ものづくりへの興味や関心を喚起し、将来の進路を考えるきっかけづくりといたします。令和5年度実

績としまして、①東成こどもモノづくり体験フェスタ 来場者数：664名、②工場見学会、見学先企業は5社、見学者数：延べ56名の参加がありました。今年度につきましても資料のとおり実施の予定をしておりますので、ぜひモノづくり体験や見学にお越しいただければと思います。

次のページになります。⑩不登校の改善及び防止に向けた取組ということで、こちらは区役所の中でも保健福祉課の担当となります。区内小中学校及び子育て支援室へ心理学等の専門家・大学教授等を派遣し、支援者への助言・指導を通じ、一人一人の状況に応じた教育環境整備や必要な支援の導入のため機関コンサルテーションを実施いたします。実施内容としましては、児童にかかる課題分析、必要な環境調整・支援構築への助言指導、対人関係に課題のある保護者へのアプローチ方法や支援の糸口についての助言指導、ケース検討会における関係機関・事業所等への助言、ライフステージ移行時における必要な環境整備や支援の引継ぎ、ソーシャルスキル獲得支援に関する助言、関係機関・事業所等に向けた支援にかかるスキルアップ研修の実施を行い、不登校の改善や未然防止に努めてまいります。

その下の資料にまいります。こちらで最後になりますが、⑪学校園と連携したSDGs推進の取組でございます。こちらは総務課の取組になるのですが、学校園におけるSDGs宣言、万博の機運醸成とSDGsをテーマにした絵画コンクールの実施、大阪成蹊大学芸術学部との協働により、SDGs学習教材を製作し、小中学校で活用していただくなどの取組となります。今年度新たに、東成区の未来について各中学校の代表の中学生が主体となって考え、自分たちができることを中心に区長と意見交換をするひがしなり未来会議を開催しております。東成区役所の年間事業の方針を区民の方々に議論いただく区政会議という会議がございますが、その中学生版というイメージで、捉えていただければと思います。防災をテーマに話し合っていたということで、9月4日に第2回目の会議を開催する予定としております。

ずいぶん駆け足になりましたが、事業の取組状況につきましては、以上でございます。

それでは、区長からコメントや補足などありましたら、よろしく申し上げます。

○御栗区長

少し分かりづらい箇所もありますし、初めての方もいらっしゃると思いますので、補足を少しさせていただければと思います。2ページ目の3.教育関連事業の取組状況についてとありますけれども、当区独自の取組が大半になっておりまして、24区で実施していない取組ばかりが並んでいるイメージで見ていただければと思います。②民間事業者を活用した課外学習の取組、これは各区実施しておりますが、締結している事業者が違ったりとか、色々な形になっております。ただ、当区の場合はトライグループと締結しておりまして、先生の評判も良いみたいですので、本当にぜひご利用いただければと思います。中学校でトライグループに運営していただいていたので、塾代助成が小学校5年生・6年生の半分ぐらいのご家庭に拡充されましたので、それと併せてスタートをさせていただいて、中学校で評判が良いというこ

となので、トライグループに是非ということでやっていただいているということになります。ご存知のとおりご案内も色々させていただいております。5年生・6年生ということにはなりませんけれども、習い事塾代助成事業に関しましては、10月から拡充されますので、全世帯に月1万円お配りさせていただくということになっております。ぜひご活用いただければと思います。中学生には従前から配らせていただいておりますけれども、中学生につきましても全世帯ということですので、ぜひご活用いただきたいと思います。

それから令和6年度で5つの小学校で実施しているとお話させていただいておりますけれども、小学校の課外学習・放課後の塾業者による学習支援におきましては、この5つの小学校と、③の部分では中本小学校・中道小学校にも学習支援を入れさせていただいておりますので、合計で7つの小学校で実施させていただいている形になっております。上の5つの小学校につきましては、その学校の子どもたち限定で実施させていただいておりますが、中本小学校・中道小学校につきましては、どの学校の子どもも行けるという形になっております。現在の中道小学校に東小橋小学校の児童が行ってくれておりますので、開催されていない学校の児童・生徒につきましても、各学校に行ける形になっております。ちなみに中学校、実は玉津中学校は実施できていない状況になっております。校長先生にはぜひ玉津中学校でも実施させてほしいというお話はさせていただいております。玉津中学校の生徒については、若干名本庄中学校に行ってもらっている状況ですので、小学校の部分で中道小学校・大成小学校・東小橋小学校の児童が放課後の塾で勉強をしてくれておりますので、玉津中学校に進学した後に玉津中学校に受け皿があるのが一番良いので、校長先生には今お願いをさせていただいているところであります。開校されていない学校につきましては、教室の空きの問題であるとか、その辺も踏まえまして、開催できていないというのが現在の状況かなと思います。少し話が長くなっておりますけれども、当区独自ではない取組についてはそういう形で各区では色々な形で実施しています。

次に⑧「子どもの人権意識を育む取組」です。この取組も各区で実施しておりますけれども、当区の場合はこういう形で行っております。②と⑧以外の部分については、東成区独自ということでも実施させていただいているというご理解をいただければと思います。

個別に少しずつ、補足させていただきますと、3ページ目の①「電子書籍を活用した読書活動推進の取組」についてです。これも3年目になりましたけれども、小学校を中心に実施させていただいております。中学校は希望者という形にはなっておりますけれども、本庄中学校・東陽中学校がそれぞれ100名ぐらい希望して、使いたいと言ってくれている状況にあります。二極化しておりますして部活や受験勉強が忙しいと思いますけれども、中学生になりますと本当に使ってくれる生徒と使わない生徒との差がすごく激しく、それなりに予算を使って実施しておりますので、中学生に関しては希望者に配付という形に変えさせていただいております。ただ5年生・6年生については、全員配っておりますので、その児童たちがどんどん進学しておりますので、そういう児童たちが中心になって使っただけならなと思います。

ICTの部分につきましては、実は第2教育ブロックで大阪市は4つのブロックに分かれて教育環境を色々と施策・運営させていただいております。第2教育ブロックというのは、福島区・北区・都島区・旭区・城東区・鶴見区それから東成区の7つの区です。色々な情報交換や予算・運営をしております、そこで本当に優れた取組をしている学校にスポットを当てまして、第2ブロック通信みたいな形で学校あてに発行しております。次の号に今里小学校が紹介される予定になっております。ご承知のとおりICT関係で頑張ってくれています。色々な取組をしております、学校情報化という形で東成区内全校承認をいただいております。今里小学校以外の学校は、学校情報化優良校ということで認定されておりますが、今里小学校だけはもう1ランク上の先進校ということで認定を受けていただいております。電子書籍の活用も100%という形で、全児童が使ってくれてるといような、非常にありがたい活用をいただいております。その記事もまた見ていただければ活用状況も分かるかなと思います。

③「習い事等を通じた子どもの生きる力を育む取組」の部分につきましては、志塾フリースクールが今年度から運用に当たっていただいております。こちらのフリースクールも、自立支援アシスト事業など大阪市の色々な事業でかなり連携していただいている事業者として、東成区におきましても2階に自立支援アシストの窓口もありますけれど、その運営も志塾フリースクールに運営いただいているという形になっております。12月ですかね、教育フォーラムと言いまして、小学校・中学校の各学校が色々な研究の発表をする場合がありますけれども、その場におきましてフリースクールがどういことをされてるのかということや学校の先生方もご存知ない方も多いので、志塾フリースクールの代表の方に講師をお願いしております、そういう学校だということでご理解をいただければと思います。そういうところが放課後事業の生きる力育みということで、少し分かりにくいですが心身の居場所作りやとにかく学校を楽しい場所にしたいなということで、塾代助成も活用しながら学習支援以外のダンスや動画編集を放課後の学校を活動して実施させていただいております。

②③の事業につきましては、塾代助成が対象になるということ、繰り返しになりますけれども10月から拡充されますので、ぜひご利用者がもっとたくさん増えてくれたらと思っておりますので、皆さんから情報発信いただければと思いますのでよろしく願います。

ページをめくっていただいて④「子どもの国際理解を育む取組」ですけれども、これはJICAと連携してるのが当区だけになっております。通常の出前授業で一部少ない件数実施しているのは各区ありますが、件数的には突出して多いという形になっております。右の写真に出ているのが、キルギスの留学生の方だと思います。私も見に行きましたけれど、中道小学校の4年生だったと記憶しております。45分の授業で子どもたちと交流するのもすごく良いですけど、終わってから休み時間に、この先生の前に子どもがいっぱい寄ってきて、あれやこれやと質問をして交流が出来ているというものもすごく素晴らしかったです。こういう事業もしっかり実施しております。

令和 6 年度の新たな取組ということで、ポケットークを東成区でも購入しましたという話を差し上げましたけれども、これも当然教育委員会事務局でも一定数台数を用意して対応いただいておりますが、まだ足りないという話がありました。これもまさに昨年の 2 回目の東成区教育会議でのお話だったかと思いますが、外国籍の児童が増えてきて、色々なご意見をいただきましたので、区の予算を使ってポケットークをもう少し手厚くしたいなということで購入させていただきました。一応現時点で学校からのご希望に関しては、教育委員会事務局の分も含めて 100%お手元に渡せるかなという形になっております。

翻訳機での会話もなかなか難しく、一般会話の買い物や旅行などの会話はスムーズに活用できますが、学校で使用するとすると、特に小さい子どもとの会話が難しいようです。幼稚園でも同様の課題が起こっておりますが、幼児の言葉になるとポケットークが反応しないというようなことであったり、逆に学年が上がっていくと学習用語といたしますか、そういったものもどんどん出てきますので、そういったものの対応も難しくなったりはしますけれども、一定数きちっと配らせていただいているかなと思います。教育委員会事務局でも本当に最新の機械・技術の導入に向けて色々動いてくれておりまして、同時通訳の機械であるとか、色々なものを使って子どもたちがコミュニケーションで困らないようにみんなで努力しているところであります。

区内で言いますと、今里小学校が昨年から日本語指導のセンター校を担ってくれております。第 2 教育ブロックで 2 校しかないですけれども、そういう意味では 1 校が東成区内にあるということになるので、非常にいい形で運営・支援ができるかなというふうに思っています。

⑤「子どもの情報モラル等を育む取組」につきましては、前回もお話差し上げて冊子を配らせていただいたりもしておりますので、ぜひホームページで内容をご確認いただければと思います。時間をかけて予算もかけて作った良い冊子だと思っております。学校と話をしておりますと、SNS でのトラブルが小学校も中学校も起こっているとのことですので、その際には使っていただいて指導を校内で実施していただいているという冊子になります。これは東成区独自で作ってる冊子なので、結構本当に予算をかけて作ったので他区でも使ってほしいということで色々な形で情宣もしております。他の区であるとか、他の自治体からも使わせてほしいというお話が色々ありますので、見ていただければと思います。

⑥「平和学習の取組」ですけれども、小学生については DVD を観てもらって感想を出していただいております。大阪府の遺族会代表と書いておりますけれど、この方が岡倉さんと申しまして、東成区の方ですので、本当に平和学習に力を入れていただいております。中学校におきましては、国連のウクライナで働いている方とリモートを繋ぎ講演していただく等、色々な形で実施してまいりました。今年度につきましては国境なき医師団の方をお願いをしております、医療関係や海外ボランティア、海外でのいろんな取組のご紹介をしていただく予定にしております。本当に平和学習という意味もありますし、キャリア学習の意味もあります。2 年前の国連の職員の方に講演していただいた時も、本当に英語を一生懸命勉強

して、同じような仕事をグローバルで頑張りたいと思いますなど、本当にたくさんアンケートに書いてくれましたので、平和学習プラスそういうキャリア学習や勉強する動機付けと言いますか、そういった意味でキャリア学習の意味があるかなと思っておりますので、今年度も良い形で中学校にご協力いただいて展開できればと思います。

⑦「子どもの体力向上に向けた取組」ですけれど、小学生につきましては、とにかく沢山の児童を褒めたいということで実施しております。競技種目が 8 つありますけれど、それぞれに上位 3 位、3 つの記録の中に収まる子どもたちは全員表彰しようということで実施しております。1 年目の時は、例えば 50m 走については、7 秒 7.1 秒 7.2 秒ということではなくて 7 秒の上から 3 人表彰しておりましたけれど、去年校長先生からご意見もありまして、上の三つの記録、7 秒 7.1 秒 7.2 秒に収まる児童は 5 人、6 人いても全員表彰をするという形でとにかく沢山表彰しようということで小学生は実施させていただいております。延べ 70 人ぐらいは年間で表彰をさせていただいております。1 学年、大体 600 人弱だと思っておりますので、10 人に 1 人の子どもたちを褒めているという形で実施させていただいております。

中学生にもぜひ実施したいということで色々と相談させていただきました。中学生は 2 年生が対象になります。中学生に関しては、まさに近藤校長先生がおっしゃっていただきましたけれど、真剣に 1 番を狙うと言いますか、東成新記録のような形で表彰を実施したいということで、校長先生方からご提案いただきました。今年度が初めてになりますけれど東成新記録を認定していきたいと思っています。そういう形で体力については実施させていただいております。右側に「目指せ！東成新記録」と書いております。小学生のポスターですけれど、5 月頃に体力テストを各校で実施しますけれど、体力テストを行う前に校内に貼らせていただいて、子どもたちがその記録をめがけて頑張るぞと頑張ってくれておりますので、いい形でできているかなと思います。小学校の場合は本当に子どもたちが励まし合いながら、応援しながら記録を測ったりもしております。体力に関しては中本小学校が熱心に行ってくれておりまして、クラスで反復横跳びの記録を伸ばすにはどうすればいいのかと話し合いを行い、色々な形で子どもたちが切磋琢磨して、記録を上げることに取り組んでいただいておりますので、本当に素晴らしいと思います。小学校はカルチャーがありますので、大事にして沢山の児童を褒めたいということで実施させていただいております。3 年目になりましたので、今の中学校 1 年生の生徒たちが 5 年生の時に始まった制度になりますので、ぜひ今の中学校 1 年生の生徒については来年が対象になってきますのでしっかり頑張ってもらいたいなと思っております。先生方をお願いしているところであります。

それから⑧「子どもの人権意識を育む取組」につきましては、チラシ・パンフレットは去年の分ですけれど「聲の形」を上映させていただきました。京アニ作品です。まさに先週に地上波で放送された作品です。非常に良い映画でしたので、去年も沢山来場してくれました。先ほどご紹介しました「ワンダー君は太陽」という作品も非常に話題の作品ですので、ぜひ PTA でもご情報いただいて、沢山の子どもたちに観ていただきたいなと思います。大

人が観ても本当に感動する作品になっておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

⑨「工場見学等ものづくりの魅力に触れる取組」ですけれども、昨年の東成区教育会議だったと思ひますけれど、工作といひますか、そういう体験的なものを増やしていただければという話もありましたので、我々からも色々お声掛けさせていただきまして、①「東成子どもモノづくり体験フェスタ」に関しても協力企業の数も増えています。代表的なところでは、オルフアさん、カッターナイフで有名ですけれども、そういう会社も子どもたちに安全にカッターナイフを使うところを勉強してほしいということでご参加をいただいております。②の工場見学会では東成区で本当に有名なケントハウスさんにもご参加いただきまして、本当に抽選漏れが出るような状況になっております。ケントハウスさんもぜひ子どもたちに勉強してほしいということで参加していただきました。パティシエが本当に女の子は多いですかね、小学生のなりたい職業の1番2番3番になっていたりもしますので、そういう形でこちらでも実施していきたいと思っております。

⑩「不登校の改善及び防止に向けた取組」については、少し分かりにくい箇所があったかと思ひますが、これは直接的に児童・生徒であるとか保護者の方というよりは、学校と区役所のメンバーのスキルアップということで実施させていただいております。こども青少年局の重点予算を特別にもらっています。梅花女子大学の伊丹先生で本当に有名な先生ですけれども、伊丹先生にわざわざ東成区のために4人のチームを組んでいただいております、学校ごとに訪問いただいて学校の先生方から個別にご相談をいただいたり、研修を実施していただいたりということをして昨年度から実施させていただいております。

それから⑪「学校園と連携したSDGs推進の取組」に関しましても、一生懸命やっております、令和6年度の新たな取組ということで、ひがしなり未来会議を実施させていただいております。これは区政会議の中学生版ということで、今年のテーマは防災に据えております。私と徳田消防署長も一緒に参加をしております。それから連長会の防災部長ということで、中本地域の勝間会長にも入っていただいております。東成区青少年指導員連絡協議会の藤岡会長、女性会の北岸会長にも一緒に同席いただいて実施する予定にしております。東成区PTA協議会の徳永会長にも、ぜひご参加いただきたいということでご案内差し上げているところです。各4中学校の代表の子どもたちと意見交換をさせていただいて、子どもたちに自分たちがどういふことができるかということを中心に考えていただいて提案してもらおう場ということになっております。本当にすごく期待しております。出てくる意見に関しましては子どもたちがぜひこういうのをやりたいという意見が出てまいりましたら、PTAの皆さん、学校の皆さんにご協力いただいて、ぜひ実現したいなと思っておりますので、ご協力をよろしくお願ひしたいと思ひます。これはプロジェクト・ベースド・ラーニング(PBL)と言ひまして、課題解決学習で色々な企業や自治体の課題テーマを子どもたちに考えていただいて提案してもらおうという取組の一つでもあります。キャリア学習の一環としても有効かなと思っておりますので、しっかりと実施していきたいと思っております。長々となりましたけれども、私からの補足は以上になります。

○村田教育支援担当課長代理

それでは皆様ご意見ご質問等を踏まえてお聞きしていきたいと思えます。今後についての要望などでも結構かと存じますのでご意見ご質問がある方は挙手をお願いいたします。いかがでしょうか？

○委員

②「民間事業者を活用した課外学習の取組」についてですが、私が知らないだけかとは思いますが、東中本小学校で実施されていない気がするのですが、いかがでしょうか。

○御栗区長

実施しております。他校と比べると人数多めで実施しております。人数が多いと言っても10名・20名まではまだ集まっておりませんが実施しております。

○委員

息子が対象なので、楽しみにしておりました。

○御栗区長

7月末時点で4名ですけれども、実施しております。夏休みは、この5校はやってないと思います。学校が開校している期間に実施しております。4月の早い段階で実施させていただいております。

○委員

ありがとうございます。

○御栗区長

少し力不足で情宣が足りないということが、すみません、はっきり分かりました。

○委員

途中から入ることもできるんですか。

○御栗区長

可能です。

○委員

また、同じやっているとところを改めて保護者の皆さんに案内していただいたらまた増え

てくるかもしれないですよ。

○御栗区長

ありがとうございます。

ちょうど7月の1学期の時に塾代助成が拡充されるタイミングがありましたので、そのタイミングで「ミマモルメ」を使いまして、保護者の方に直接メールでご案内を送れるようになっております。5年生・6年生、あと中学1年生・2年生・3年生になりますけれども、学校にご協力いただいて保護者に先ほどお配りしたようなチラシとかを送らせていただいているというような状況になります。「ミマモルメ」を登録されていない保護者もいらっしゃいますので、当然紙も含めて情宣はさせていただいております。

○村田教育支援担当課長代理

ありがとうございました。

他にご意見・ご質問はございますでしょうか。

○御栗区長

学習支援は、基本少人数スタイルと言いますか、1人の先生が担当するのは1番多くても5人という形ですので、良い形で出来ていると思います。業者さんからすると場所代が要らないこと、広告・宣伝する必要がないのでこういう形で行っていただいております。

ただ注意しないといけないのは、あまり参加人数が少なく業者さんの採算が立たなくなってきましたと、出来なくなってきましたので、沢山ご参加いただいた方がいいと思っております。中学生は従前から実施している場合も多いです。区によっては、参加者が減ってしまって、業者さんが撤退してしまったという区もありますけれど、当区の場合はもう中学生は10人参加してくれておりますので、維持できているという状況です。

○村田教育支援担当課長代理

それでは他に何かご意見・ご要望などございますでしょうか。

○委員

よろしいでしょうか。⑨の工場見学とモノづくりの部分ですけれども、工場見学会というのはどういったルートというか、どういった皆さんのところに、工場・会社側にアプローチされているのかなと教えてもらえたらなと思います。

○沼口係長

モノづくり体験イベントの時に、出展していただける企業様であったり、出店を考えていただいている企業様にこの時期に工場見学会を実施したいのですけれども、工場見学は可

能ですかと呼びかけをさせていただいております。可能ですよと回答いただきました企業様に具体的に何月何日の何時からという形でアプローチをさせてもらっております。

○委員

そうですか。私も製造業をやっております、この東成区には東成工業会というのがあります。工業会の会長さんが東成区 100 周年の事業にも参加されているので、こういった形で今は携わっているかわからないですけども、工業会に入っておられる方もこういうふうに見学会に参加されている方もいるとは思いますが、せっかくこういったような繋がりも出来ているので、工業会にもお声がけいただけたらと思います。

○沼口係長

補足になって申し訳ないのですが、工業会さんと大阪府中小企業家同友会さんにもお声かけはさせていただいております。

○委員

そうですか。

○沼口係長

同友会さんには文書で、会員の皆様にご周知くださいということで、モノづくりイベントをします。工場見学会も実施したいのですけれど、どなたか参加いただけませんか、もしありましたら担当までご連絡くださいという文書を配付させていただいております。

○委員

もう一歩進んで、せっかく繋がっているのだから、そこの方と直接話をしながら、こういう意図で実施したい旨を伝えてほしいです。特に今少なくなっていますし、東成区もどんどん製造業が無くなってきていますので、しっかりと繋がりを持ちたいという意図を持ちながら、せっかく来ていただいているのでやっていただけたらなという思いであります。お願いします。

ちょっとこれ僕だけになるのかもしれないですけど、日程のことで、子どもさんの会議でもあります。例えば⑧の子どもの人権意識を育む取組ですが、子どもさんや親御さんに来ていただくということだと思います。12月8日というと、相当多くの地域のお餅つきとか実施しております。あえて言いますと、今日は地藏盆をやっているところあるんですよ。基本23日24日ですから。そういうのをちょっと大変かもしれないですけど日程も考慮しながら、実施していただけたらなと思います。私らも何かのときやるときに連れていけるのかなと思います。色々な地域で色々な行事を行っており大変だと思いますが、その辺ちょっと考慮していただければなと思います。

○古山係長

地域の行事など含めて調整ということが必要かなと思いますが、人権映画会については人権週間の中で、皆様に人権啓発をさせていただいてるところもあります。皆様にきていただける休日というところも考えさせていただいているところでもあります。ご意見ありがとうございます。

○御栗区長

ものづくり関係につきましては本当にありがとうございます。①「東成こどもモノづくりフェスタ」も、②「工場見学会」にも沢山来ていただけてるところでもありますので、実施日であるとか、実施枠であるとか、その辺を増やすとまた沢山できる部分も出てくると思います。特に見学会は抽選で落選するケースもあつたりもしますので、色々な企業さんにご協力をいただいて、実施できる方が絶対良いと思います。ただ、ケントハウスさんも人気がありすぎて、それに加えご案内できる人数がどうしても限られてきますのでなかなか全部答えきれない部分はあります。東成区はものづくりの街でもありますので、ぜひ良い形で増やせるのであれば増やしたいというのは去年の反省を踏まえて取り組んでいるところでもあります。

春休み期間中というところもあつて、なかなか日程のところも難しいところもあります。春休みの3月の終わりぐらいになると、中学生も参加できるのですかね。3年生とか結構空き時間が多くあつたりしますかね。

○委員

中学校なんかは学校単位で実施しているところもあります。私らも中学校の方でどこかよく知っている企業を教えてくださいと学校側からちょっと言われております。

○御栗区長

職場体験ということで、11月頃ですか。コロナも終わったので、復活している学校もあるとは思いますが。色々な企業さんとか事業所さんとか、公的機関もそうですけれど、行かせていただいて中学生は職業体験という形で実施されております。

○近藤校長

教職員は忙しい時期ではありますけれど、生徒については時間が空いているかもしれないです。だからPRすれば、生徒が集まる可能性もある時期だと思います。

○御栗区長

春休み期間中というところと、あと3年生は特段この時期空いていますかね。

○近藤校長

そうですね。教員はもう高校の進学がありますので忙しいですけど、3年生はおそらく一番空いている時期だと思います。

○御栗区長

小学生はどうでしょう。保護者も一緒に来場してくださいという形でご案内します。中学生は1年生、2年生はまだ部活があったりするので忙しいでしょうけれど、3年生は高校へ行くまでに自由に時間があるときだと思ったりもしております。工場の社長さん方とお話すると、ぜひ中学生に見てもらいたいというご希望もあつたりしますので、ぜひ工夫できればなという話をしているところです。

先程の電子書籍でも中学生は本当に忙しくて、みんな一生懸命に学生生活を頑張ってくれておりますので、なかなか土曜日・日曜日は難しいところがあると思いますけれど、工夫のしようはあるなと思います。ありがとうございます。

○村田教育支援担当課長代理

他にご意見等いかがでしょうか。無ければ、次の議題の方へまいりたいと思います。

それでは、続きまして議題の4.その他となっておりますが、小学校の配置の適正化の状況について、少し触れさせていただければと思います。前々回の教育会議におきましても、議題にさせていただいたところがございますが、1年近く経過しておりますし、委員さんの入れ替わりがございますので、改めてご説明をさせていただきます。資料としましてはお手元の横長の1枚ものの資料「学校配置の適正化について～子どもたちによりよい教育環境を～」をご覧ください。大阪市では、全市的にさらなる少子化が見込まれる中、将来を見据え、持続的に良好な教育環境を提供していくため、子どもたちの教育環境の改善の観点を第一に据えて、行政が主体的に責任をもって解決を図る必要があると考え、学校配置の適正化の基準と進め方について、令和2年4月1日に条例や規則で規定化し、一定の集団規模を確保して教育活動の充実を図る小学校の配置の適正化の取組を進めております。資料のはじめ、1.大阪市の小中学校では小規模化が進行とございます。昭和54年と令和5年の状況を比べた小学校と中学校それぞれの児童・生徒の数と学校の数のグラフになっております。ご覧のように児童・生徒の数は激減しておりますが、学校の数はほとんど横ばいとなっております。学校ごとに在学する児童・生徒の数が減っていて小規模化しているということが分かります。

次に2.適正配置の必要性～小規模校における課題～には子どもたち、教員、保護者それぞれが感じる課題がまとめてあります。子どもたちにとっては、クラス替えができないため、人間関係が狭くなり固定化しやすい。また、関係につまずいても、リセットや改善が難しい。様々な同級生と接して、友だちを作ったり、揉めても力をつける経験が少ない。男女比がア

ンバランスになると、思春期の子どもが体の悩み等をクラスメートに相談できない。などの課題があります。教員にとっては1学年1クラスの場合、未経験の教員でも、授業等の準備や保護者対応を1人で行わざるを得ない。同学年の担任同士で相談して授業を充実する、隣のクラスの様子から学び取る等、現場でスキルアップする経験ができない。教員1人あたりの校務や行事に関わる負担が重くなり、校内研修の時間の確保が難しい。といった課題があります。保護者の方々には体育の授業や音楽の発表が1学年で成立しない場合がある他、運動会でクラス対抗の競技ができないなど、教育活動に制約が出る。授業の中で、様々な意見が出にくく、こんな考え方があるのかとの気づきや意見の違いを話し合う展開になりにくい。修学旅行等や卒業アルバム等、保護者の経済的負担が大きくなる。といった課題があります。

一般的に小規模校は、学校としてまとまりやすい、児童・生徒ひとりひとりの生活実態が把握しやすいといった利点がある一方で、先ほど申し上げたような教育環境に関する課題が顕著です。一定の集団規模を確保し、教育活動の充実を図っていくことが必要であるため、統合・通学区の変更により、学校配置の適正化を推進していくというのが大阪市としての考え方です。

またその右側3.統合により教育環境は良くなったか？では、統合後の学校におけるアンケート結果が掲載されています。適正な規模が確保されたことにより、児童の交友関係の広がり教育活動の充実など小規模であったことが原因だった課題が一定解消され、集団活動の中で期待される教育効果が得られていること、また、教員数が一定数確保されたことにより、指導技術の向上や教材研究、児童と向き合う時間の確保なども可能となり、教育の質的な向上にもつながっている様子が伺えます。

現在、全国的に少子化が進んでおりますが、東成区内におきましても、今後検討をしていかなければならない課題となっております。学校の統廃合を進める際には、保護者や地域の方々のご意見を伺いながら、進めていくこととなりますが、この機会に一度、お子様のより良い教育環境について思いを馳せながら、ご一読いただければと存じます。

また、実際に学校の統廃合が行われる場合、校舎の改築ですとか学校の教育方針、細かいお話ですが例えば校歌・校章などの環境整備、廃校となる学校の跡地活用の検討も必要となりますので、計画策定から少なくとも5～6年程度は必要となります。そのように時間のかかるお話という点もお含みおきいただきますよう、よろしく願いいたします。

お手元には以前の会議でお配りしました学校配置の適正化について記載されております黄色いリーフレットと条例の抜粋資料も添付しております。こちらも後ほどご参照いただければと存じますのでよろしく願いいたします。

御栗区長、補足等あればよろしく願いします。

○御栗区長

学校配置の適正化の横長の資料ですけれど、これは大阪市のホームページに掲載されて

いる資料になっております。以前、東成区教育会議で適正配置の話をさせていただいたときは1年ぐらい前に中学校の適正基準というのがいろいろ議論されてるときでありました。小学校に関しましては、活性化条例の抜粋であるということでA41枚の資料をお配りしております。第16条の第2項に適正規模は、学級数が12から24までとすると記載されております。小学校は6学年ですので1学年2クラスというのが小規模と条例で定められているという状況になっております。

中学校の条例はありませんので、中学校も決めていかないといけないのではないかという話があります。個人的には東成区内の中学校はほとんど同じような規模が4つありますので、非常に心配をしておりました。今、中学校についての議論をしているという形になります。

横長の資料ですけれど、東成区で言いますと中学校1学年3クラスで、相生中学校は少し大きくて4クラスだと思います。この資料を見ていただくと、3割の中学校で単学級になっております。要は中学生で1クラスしかない中学校があるというような状況になっておりますので、その中で今の議論が進んでいきます。総合教育会議という市長も入る大きな会議があるのですが、9月に予定されております。私も子ども教育部会の副会長なので、今年も出席する予定になっております。その辺で、ある程度方向性を決めていき、恐らく今年度中に条例化されて中学校の適正規模が出てくると思います。恐らく東成区の中学校が引っかかるような形にはならないのかなと今は思っているところであります。前回お話した時は、本当に中学校も含めて少子化が東成区でも進んでいるので、全体を見直す必要が出てくるかもわかりませんというお話はさせていただいておりましたけれども、恐らく中学校は今のままだでも何とかいけるかなと思っています。小学校に関しては、色々な状況が出ており、皆さんお耳に入ってる部分もあろうかと思いますが、適正規模の基準を目掛けて、色々な議論をスタートしないといけない状況です。村田からもお話しましたけれども建設関係の条件など色々な条件を入れますと、本当に新しい形で次の学校が立ち上がるのが5年後6年後ぐらいになります。ただ本当に今すぐ動かないといけないという状況にはなっておりますので、その辺だけ資料等を見ておいていただければと思います。現時点で具体的には決まっておられません。全国共通のルールですけれど、5月1日時点での各学校の児童数を固定いたしまして、その数字に基づいてその児童数・生徒数に基づいて各学校の将来推計を教育委員会事務局が出してきたタイミングですので、それを踏まえて東成区ではどうするのかを色々議論していかないといけない状況とさせていただければと思います。

私も小規模校に勤めておりましたので、小規模校は小規模校なりの良いところもありますが、ただ一定限度を超えると本当に様々な支障もあります。男の子と女の子の比率が極端になってしまうなどあります。私も経験しましたが、2~3学年引っ付けてなべて見ると、大体男女比は半々になるのですけれど、1学年ごとに切ったときに男の子と女の子の比率が1対4など、すごい学年が出てきたりもします。色々な意味で弊害が出てきます。学習指導要領にあります「主体的・対話的で深い学び」ということで言いますと、本当に沢山の同級

生の友達と色々な対話・会話をすることで学んでくれることも多々あります。学習環境を整えるという意味では東成区も色々一生懸命やっていかないといけない状況というところは変わっておりませんので、今年度中ぐらいには色々動き出すとは思いますが、ぜひご理解いただければと思います。

ただ、今日のところでお話できる事は以上しかありませんので、またお配りしました資料等は見ておいていただければと思います。公表資料ばかりです。よろしくお願ひしたいと思います。

○村田教育支援担当課長代理

では、委員の皆様、全体を通じまして何かご意見・ご質問はありますでしょうか。

○御栗区長

教育施策というか色々な話でも構いませんので、先ほども申し上げたように、この場で出たものを踏まえて取り組んだものもありますので、ぜひお話いただければと思います。①電子書籍を実施するときも、結構この場で色々お話をしております。やっぱり目の健康が心配だとか、そういったところはチラシ・ご案内書を作るときに、そういうのも丁寧に記載させていただいた上で、導入させていただいたりとかそういうことも実施しておりますので、ぜひ何かあれば言っていただければと思います。

無理に言っていただく必要はありませんけれども、本当にありがたいことにいろいろ地域行事へ行ったときに皆さんからお声掛けいただいたりしますので、地域行事とかいろいろできるだけ顔を出すようにしております。都度捉まえて言っていただいてもいいですし、当然校長先生に言っていただいても構いませんし、区役所の教育ラインに言っていただいても構いません。ぜひいろいろご協力いただければと思います。

○委員

学校配置の適正化についてです。実際に近所でも私が住んでいる区域だと、宝栄小学校へ向いて歩いていくけれど、違う方向へ向いて違う色の制服を着ている児童に対して、やっぱり子どもたちが不思議に思っていたり、なんでなんでみたいな状況になっていたりとかあります。あとはクラスが1クラスだけだと、そのクラス替えについて資料にも書かれていますが、保護者としても学年が上がるときのクラス替えがちょっと楽しみだったり、ちょっとわくわくだったりとかするので、こういうのはぜひ、必要性っていうのはすごく感じてます。

あと話は変わりますが、区長が冒頭で南海トラフのお話されておりました注意情報が出てきた時に子どもたちと、もし昼間みんな外に出て家族と一緒にいないときは、とりあえず何かあれば小学校に集合という話をしました。小学4年生の息子が、津波が来て宝栄小学校は川が近いので水が来るのに体育館に行くの？とか、体育館で大丈夫？とか、もっと上に

行った方がいいんじゃないの？という、子どもながらに心配しておりました。学校で避難訓練とかありますけれど、南海トラフの事も話題に上がり、結構不安がっていたので、先生方から津波が起こったときの行動などを子どもたちにわかりやすく説明等する機会があってもいいのかなと最近思いました。以上です。

○御栗区長

ありがとうございます。ひがしなりだよりや東成区ホームページに私の「区長ジャーナル」なるものもあります。月1回情報発信しております。あまり見ていただけていないかと思えますけれど、最近の話題で言いますと1月1日の能登半島地震もありました。どうしても住んでるところのハザードマップなどについては、声掛けがあったりするので目にする機会はありますが、通勤先とか通学先、あとは旅行先とか行っている先のハザードマップをしっかりと確認するという話をしております。特に子どもたちで言いますと、高校・大学・専門学校・社会人だったりということで、だんだん東成から離れていったりもします。また、毎日行く先でもありますので、そういった先のハザードマップ的なものはしっかり見ておく必要がありますので、そういう教育的なところは学校と連携して行っていないといけません。津波に関しては東成区の場合は南海トラフが来ても、皆さんもご承知のとおり、上町台地の上の方に位置しておりますので、津波での被害はほとんど影響のない状況になるかと思えます。逆に私が西区で勤めておりました九条東小学校は1番低いところにありました。西区は動物ものさしというのが置いてありまして、動物の背の高さまで水が来ますよということで、1番浸からないところでも日本犬か何かで50センチ沈みます。ライオンであったりと大きくなっていきます。象が3m沈むようですけど、九条南小学校で研修を受けてその学校は象でした。大阪ドームのすぐ近くの学校ですけど、すごいなと思っておりましたら、その隣の九条東小学校に着任しましたら、今度はキリンだったんです。今度は3.5m沈みますという事で、九条東小学校は盛り土の上に4階建てだったのでですけど、その学校でも2階まで浸かってしまいます。残る校舎は3階と4階と屋上しかないので、特に南海トラフでの津波の話になりましたら、とにかく身の回りの安全確認した上で、避難してくださいという話をしておりました。もう本当に九条東小学校の校区は、商店街がほとんどでしたので、3階より高い建物がほとんどありませんでした。ただ、南海トラフで津波が到達するまでに1時間58分、2時間弱ぐらい時間がありますので、ありがたいことに大阪ドームがすぐ近くにありましたので、迷う必要もないので、安全確認ができたなら迷わず大阪ドームに行きなさいと教えておりました。逆に学校に来たらいけないというような話をしておりました。大阪ドームへ行けば、ドームもありますし、横にイオンモールがついてますし、その隣は大阪市の消防本部ですし、その隣は私立の1番大きい病院があるので、何も迷わずに大阪ドームへ行きなさいという指導を地域と共に実施しておりました。その場その場でそれにふさわしい指導はあると思います。学校の先生とはまた共有はしておきます。津波に関しては、一応東成はそういう状況ということですが、ただ防災の色々な全体的な大阪市

の計画もまた色々と立てて皆さんと共有していかないといけないです。南海トラフ地震で津波が来ますと、湾岸区が全部沈みますので、西区、港区、大正区、西淀川区とかです。その辺の人たちが大変な状況になりますので、そういう市民の方を我々で受け入れてあげないといけない形になってくると思います。その場合、避難所運営とか色々なところを整理して考えていかないといけないと思っております。逆に上町断層の地震が起きましたら、東成区が被害を受けますので、ご存知のとおり東成区は木造住宅の密集地がありますので、個人的に区長として1番心配してるのが火災です。火事が起こったときに、大変なことになります。台風の時もすごく心配しておりますけれど、どこかで火事が出たら風にあおられて大変なことになります。その辺りはお互い持ちつ持たれつで津波が発生する地震の場合は当然東成区も大変な被害を受ける場合もありますけれど、湾岸区は本当に沈みますので、そういった方々を我々がフォローする部分もありますし、逆に上町断層地震で東成区が傷みましたら我々が湾岸区にお世話になるケースも当然出てきます。それらも含めて色々と考えていかないといけないです。子どもたちにもしっかりと教えてあげないといけないと思います。ひがしなり未来会議では、中学生は支える側に回ってもらうということだと思います。よく区民の皆さんと話していると、東成区は高校が無いという話をよくされますが、高校は無くても高校生はいます。能登半島地震もそうでしたけれど、高校生の諸君が自分の学校でボランティアを行っているわけではなく、みんな住んでいるところでボランティアを行ってくれています。今回の中学生とのひがしなり未来会議でも、その辺は期待しております。あと自分たちが出来るということで提言してもらおうと思っております。本当に高校生・大学生になっても、社会人になっても東成のために自分たちでどんなことができるのかという事をしっかり子どもたちと考えていきたいと思っております。ご意見ありがとうございます。小学校の先生方とは、また津波の話は共有させていただきます。散々テレビで流れますので、子どもたちも不安になってくると思います。絶対に平野川分水路が氾濫しないということではないんですけれど、かなり確率的には低いと思います。ハザードマップを見ただけならば全然沈まないということではありません。内水氾濫ということで床上浸水の被害が出ております。私が1番びっくりしたことは4年前、着任した時に区内で2回の内水氾濫、床下浸水がありました。大変でしたけれど、それは溝や側溝の掃除が不十分で、5月のタイミングであふれることがありましたので、早めに側溝の掃除を行っておいってくださいということで翌年から情宣もしましたので、この3年間はなかったと思います。

本当に気候変動について、大変な話になってきておりますので何が起ってもおかしくない状況です。他の県ですけれど、大雨で大変なことになったり、台風が上陸したことないのに上陸したり、大雨の洪水で大変な被害を受けることになったりと色々な事が起こっておりますので、色々な意味で防水・防災意識を皆さんに高めていただければと思います。

○村田教育支援担当課長代理

他にご意見などございませんでしょうか。

○委員

私の勉強不足かもしれないですけど、学校選択制が適用されてると思いますが、無くなる方向に向かってますか。どうでしたか。

○御栗区長

学校選択制はそのまま継続していきます。見直しというお話は今のところないと思います。検証もこども・教育部会などの色々な場で行わせていただいております。もちろん色々なご意見はありますが、満足いただけてるところが多いと思います。東成区ではありがたいことですけど、だいたい希望されている学校へ行けるような状況になっております。確かまだ1度も抽選を行っていないそうです。私が前職で勤めていた西区で言いますと極端になっておりまして、本当に子どもの数がどんどん減ってる地域とタワーマンション等が建ち、べらぼうに増えている地域とすごく分かれてる状況になっております。そういう状況の地域だと抽選も何もできなく、倍率が20何倍とか、お兄ちゃんお姉ちゃんが行ってても弟妹がいけない等の大変な状況になっております。特に東成区の場合はほとんどご希望通り選択できるということもありまして、特段見直す、制度を辞めるという方向性はないです。大阪市全体でも基本は学校選択制を実施するというところで議論を行っております。

○委員

子どもは今里小学校校区ではない校区から学校選択制で今里小学校を選んでいきました。子どもの特性として見通しが立たないと不安であったりするので、あえて少人数の小学校を選んで行きました。そういう意味ではあまりクラスが少なくない方が良いという意見もすごく理解は出来ますが、うちの子どもにとっては少人数の学校があっても、選択肢の一つとしていいのかなとすごく思っています。学校選択制の制度がありがたいとすごく思っているので継続してもらいたいです。ありがとうございます。

○御栗区長

ありがとうございます。個別のいろんな配慮は当然学校ごとに大きな学校でも実施させていただいておりますので、そこは1人1人に合った指導・教育を学校で丁寧に行わせていただいております。

東成区には比較的大きな学校が無いので、西区の堀江小学校や日吉小学校などは1000人をはるかに超えております。九条東小学校が120人ぐらいの学校でしたけれど、お隣の西船場小学校だと1学年が200人だったり極端な学校は極端です。色々な状況が起こっており、クラス替えの関係で、できれば1学年2クラスの規模を保つというところは基本的に基準としてあります。逆に大きすぎるのもよろしくないということで、一応12クラスから24クラスが基準になっております。24クラスでは1学年4クラスという想定になって

おりますけれど、適正配置で色々決めるときにもこの範囲に収まるようにという基準値としては出てるという事になります。一長一短あると思いますので、そこは丁寧に行わないといけないと思います。

○村田教育支援担当課長代理

他にご意見ある方いらっしゃいますでしょうか。

よろしいでしょうか。ありがとうございます。

それでは本日の議題につきましては、以上で終了とさせていただきます。本日頂戴いたしました皆様のご意見を教育施策に生かしていけるよう取り組んでまいります。

なお、第2回目の会議につきましては、来年の2月末から3月上旬にかけて開催させていただく予定をしております。また、追ってご案内をさせていただきますので、お忙しい中恐れ入りますがご出席のほどをお願いいたします。

本日は長時間、誠にありがとうございました。